

# 安全データシート

## 1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称：GZOK KABI BOUSHIZAI

会社名：株式会社 TSC

住所：神奈川県厚木市旭町 1 - 33 - 5 本多ビル 7F

電話番号：046-281-8118

F A X 番号：046-281-8193

担当部署：

緊急連絡先：

E-mail：order@tsc-clean.com

推奨用途及び使用上の制限： かびよけ剤、苔枯らし剤（業務用、家庭用）

作成年月日： 2024 年 11 月 1 日

改定日：

## 2. 危険有害性の要約

### G H S 分類

(物理化学的危険性)

分類できないまたは分類対象外

(健康に対する有害性)

急性毒性（経口）

区分 4 飲み込むと有害

急性毒性（経皮）

区分に該当しない

急性毒性（吸入・気体）

区分に該当しない

急性毒性（吸入・蒸気）

分類できない

急性毒性（吸入・ミスト）

分類できない

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

区分 1 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性

区分 1 重篤な眼の損傷

呼吸器感作性

区分に該当しない

皮膚感作性

区分に該当しない

生殖細胞変異原性

分類できない

発がん性

分類できない

生殖毒性

分類できない

生殖毒性・授乳影響

分類できない

特定標的臓器／全身毒性（単回曝露）

分類できない

特定標的臓器／全身毒性（反復曝露）

分類できない

誤えん有害性 (環境に対する有害性)	分類できない
水生環境有害性 (急性)	区分1 水生生物に非常に強い毒性
水生環境有害性 (長期間)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない
GHS ラベル要素	
絵表示 :	
又はシンボル	



注意喚起語 危険

危険有害性情報

飲み込むと有害。

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。

水生生物に非常に強い毒性。

<取扱い注意>

<安全対策>

取扱う前に、「安全データシート」をよく読み作業する事。  
炎および高温のものから遠ざけてください。

飲み込んだり、吸い込んだり、眼、皮膚に触れないようにし、  
取扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスクなどの適切な  
保護具を着用してする事。

取扱い後は、手、顔などをよく洗い、うがいをして下さい。  
環境への放出を避けて下さい。

<応急措置>

火災時には、炭酸ガス、粉末または泡消火器で初期消火に  
当たり、火災が広がった場合は、泡消火剤または多量の噴霧  
水で消火して下さい。

飲み込んだ場合は口をすすいで下さい。無理に吐かせないで  
下さい。

吸入した場合は空気の新鮮な場所で、呼吸しやすい姿勢で休  
息させて下さい。

皮膚に付着した場合は多量の水と石鹼で洗って下さい。

眼に入った場合水で数分間注意深く洗って下さい。

次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は  
外して下さい。その後も洗浄を続けて下さい。

暴露または暴露の懸念がある場合は医師の診断／手当を受けて下さい。

<保管>

容器を密閉して換気の良い場所で保管して下さい。

<廃棄>

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理して下さい。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

含有成分	化審法番号	安衛法番号	CASNo.	含有量
塩化アルキル <sup>メチルベンジル</sup> アンモニウム	8001-54-5	821944		約 50.9%
アルキル <sup>アミノエチル</sup> グリシン	情報なし	情報なし		約 0.05%
塩化ベンザ <sup>ル</sup> コニウム	情報なし	情報なし	8001-54-5	約 0.05%

上記組成に水、コーティング剤、界面活性剤、調整剤、その他含有

### 4. 応急処置

吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

直ちに石鹼と水で付着部分をよく洗う。外観に変化があるか痛みが続く場合は、医師の診察を受ける。

目に入った場合

直ちに清浄な水で15分間以上洗眼（まぶたの裏までよく洗う）した後、速やかに医師の処置を受ける。

飲み込んだ場合

水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水または牛乳を飲ませる。直ちに医師の処置を受ける。無理に吐かせてはならない。被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。腐食性物質を含むので吐き出させるとかえって危険を増す。

いずれの場合も、医師への受診時には製品またはSDSを持参する。

### 5. 火災時の措置

消火剤

二酸化炭素、粉末、泡、水噴霧

使ってはならない消火剤

—

火災時の特定危害有害性

火元への燃焼源を絶ち、消火剤を使用して消火する。周囲の設備などに散水して冷却する。

予防措置

消火活動は、可能な限り風上から行い有毒なガスの吸入を避ける。

消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用する。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

漏出防止、除害などの作業は、必ず、保護具（不浸透性保護手袋、ゴーグル型保護眼鏡）を着用する。

こぼれた場所は滑り易いため注意する。

### 環境に対する注意事項

流出した製品が河川などに排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

### 封じ込め、浄化の方法及び機材

土砂等の不燃物で囲い流出を防止し、スコップまたは吸引機等で空容器に回収する。

回収後の少量の残留分は、土砂またはオガクズ等に吸収させ回収する。

残留分が極少量の場合は、ウエス等で拭き取る。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項

作業には必ず保護具（手袋、マスク、メガネ等）を着用する。

多量の場合は人を安全な場所に退避させる。

必要に応じた換気を確保する。

### 環境に対する注意事項

漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。

### 封じ込め、浄化の方法及び機材

土砂等の不燃物で囲い流出を防止し、スコップまたは吸引機等で空容器に回収する。

回収後の少量の残留分は、土砂またはオガクズ等に吸収させ回収する。

残留分が極少量の場合は、ウエス等で拭き取る。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

作業場の換気を十分に行い、ゴーグル型保護眼鏡、不浸透性保護手袋等の適切な保護具を着用し、直接の接触を防ぐ。局所排気、全体換気を行う。

#### 安全取扱注意事項

取扱い後は、手、顔などをよく洗い、うがいをする。

本品で汚染された作業衣、靴、手袋等は、ロッカー等で衣

接触回避	服等に接しないようにして洗濯する。 強酸化剤との接触は避ける。火気を近づけない。金属を腐食し、水素ガスを発生する。高温では殆どの金属を腐食する。
保管 安全な保管条件 安全な容器包装材料	通気の良い場所で密栓保管する。 製品使用容器に準ずる。

## 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。
許容濃度等	
管理濃度	設定されていない
許容濃度	
日本産業衛生学会	設定されていない
ACGIH	設定されていない
保護具	
呼吸用保護具	通常の作業の場合は特に必要なし
手の保護具	不浸透性保護手袋
眼及び／又は顔面の保護具	ゴーグル型保護眼鏡または全面保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	適切な保護具（不浸透性保護衣、保護靴等）

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的形状	
形状	青色の液体
臭い	無臭又は原料臭
融点／凝固点	0℃（凝固点）
pH	7 ± 0.9（原液/25℃、調剤時）
比重	0.99（原液/25℃、調剤時）
物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲	
沸点	データなし
流動点	データなし
引火点	引火せず（水が沸騰する）
発火点	データなし
爆発特性/爆発限界	データなし

溶媒に対する溶解性

水	可溶
アルコール	可溶 (エタノール)

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の取扱い条件においては、光、熱、衝撃に対して化学的に安定。
反応性	通常の使用条件下では、危険な反応を生じるおそれはない。
避けるべき条件	情報なし。
避けるべき材料	情報なし。
危険有害な分解生成物	情報なし。
その他	特に知見なし。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	区分4 (LD50 = 848 mg / kg (ラット) (区分4))
急性毒性 (経皮)	区分に該当しない(塩化アルキルジメチルベンジル、アンモニウム区分に該当しない。不純物 区分に該当しない)
急性毒性 (吸入：気体)	区分に該当しない。(GHSの定義におけるガスではない。) データなし
急性毒性 (吸入：蒸気)	分類できない。データなし
急性毒性 (吸入：粉じん又はミスト)	分類できない。データなし
皮膚腐食性/刺激性	区分1 腐食性あり(ラビット)OECD法(区分1)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1 腐食性あり(ラビット)OECD法(区分1)
呼吸器感作性	分類できない データなし
皮膚感作性 :	区分に該当しない。(塩化アルキルジメチルベンジルアンモニウム 区分に該当しない)
生殖細胞変異原性	区分に該当しない。(塩化アルキルジメチルベンジルアンモニウム 区分に該当しない)
発がん性	分類できない データなし
生殖毒性	分類できない データなし
特定標的臓器毒性	分類できない (単回ばく露) データなし
特定標的臓器毒性	分類できない (反復ばく露) データなし

誤えん有害性 分類できない データなし

## 1 2. 環境影響情報

水生環境有害性 区分 1  
短期（急性） 塩化アルキルジメチルベンジルアンモニウム

区分 1  
不純物 区分 1  
生態毒性 データなし  
水生環境有害性 区分に該当しない  
長期（慢性） 塩化アルキルジメチルベンジルアンモニウム  
区分に該当しない。

残留性／分解性 データなし

生体蓄積性 データなし

土壌中の移動性 データなし

その他の有害性 データなし

BOD<sub>5</sub> = 7 2 0 0 m g / L （製品 1 0 g / L 当りの値）

（ J I S K 0 1 0 2 - 2 1 , 3 2 ・ 3 ）

CODM<sub>n</sub> = 7 4 3 0 0 m g / L （ J I S K 0 1 0 2 - 1 7 ）

n - ヘキサン抽出物 = 1 m g / L （製品 1 g / L 当りの値）（環告 6 4 号付表  
4）

オゾン層への有害性 分類できない データなし

## 1 3. 廃棄上の注意

大量の製品を廃棄する場合には、産業廃棄物として、事業者自らが処理するか、知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくはその処理を行なっている地方公共団体に委託して処理すること。

## 1 4. 輸送上の注意

国連番号（国連輸送名） 1 7 6 0 （その他の腐食性物質（液体）（他の危険性を有しないもの）

国連分類 国連の分類基準には該当しない。

国連番号 国連の分類基準には該当しない。

国内規制 陸上輸送、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。

海洋汚染物質 非該当

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

運搬に際しては、容器の漏れのないこと及び所定の表示のあることを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

#### 国内規制がある場合の規制情報

消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。船舶安全法に定められている運送方法に従う。

### 15. 適用法令

#### 化審法

特定化学物質	該当せず
監視化学物質	該当せず
優先評価化学物質	アルキル（C = 12～16）（ベンジル）（ジメチル）アンモニウムの塩 第一種/政令番号 1-044

#### 労働安全衛生法

特化則	該当せず
有機則	該当せず
表示物質（法57条の関係）	該当せず
通知対象物（法57条の2の関係）／ がん原性物質（安衛則577条の2第3項）	該当せず
指針・通達物質（既存変異原化学物質等）	該当せず
通達による表示物質	該当せず
危険物	該当せず
安衛則326条の関係	該当せず

#### 化学物質管理促進法（PRT法）

特定第一種指定化学物質	該当せず
第一種指定化学物質	アルキル（ベンジル）（ジメチル）アンモニウムの塩（アルキル基の炭素数が12から16までのもの及びその混合物に限る。）（51%含有）
第二種指定化学物質	該当せず

#### 消防法

危険物	該当せず
指定可燃物	該当せず

#### 毒物及び劇物取締法

毒物、劇物	該当せず
危険物船舶運送及び貯蔵規則	
危険物	該当せず
輸出貿易管理令	
規制物質	該当せず
薬機法	
日本薬局方	該当せず

## 16. その他の情報

### 参考文献

- 「産業衛生学雑誌」(2023/9)(日本産業衛生学会)
- 「TLVs and BEIs」(2023)(ACGIH)
- 安全性試験機関測定値
- 界面活性剤のGHS対応MSDS作成ガイド(2010年版)  
(日本界面活性剤工業会)
- 厚生労働省職場の安全サイト
- 厚生労働省化学物質のリスク評価
- 厚生労働省
- 製品安全データシートの作成指針改訂版日本化学工業協会/  
GHS対応ガイドライン、(財)日本化学工業協会(2012)
- 労働安全衛生関係法令集、労働行政研究所
- ・毒物及び劇物取締法(令和四年法律第六十八号による改正)サイト HP
- 労働安全衛生法 サイト HP
- 労働基準法 サイト HP

### その他

※記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データなどに基づいて作成しており、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。全ての化学品には未知の危険・有害性があり得るため、ご使用の際には用途、用法に適した安全対策を実施の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。